

生命医科学部 医情報学科
アドミッション・ポリシー（転入学・編入学試験）

医情報学科では、医療、福祉、健康など「生命」に関連する幅広いフィールドで、医学および医情報学の複眼的視点から創意工夫をもって課題解決へと導くことのできる技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

医情報学科の求める学生像

知識・技能

生命医科学に関連する基礎医学や生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する知識を得るために必要な、自然科学の基礎学力やヒトを主体とする情報利用に関する技術を身につけるために必要な基礎的な知識・技能を有する学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

日本語および英語の基本的な読解能力と表現能力を有し、論理的思考能力と、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたいと希望する学生を求めています。

主体性・多様性・協働性

生命医科学に関する様々な問題について幅広い関心と向上心を持ち、自ら課題を発見し、解決する能力を習得したいと希望する学生を求めています。また、これらを協働して行うことを目指す学生を求めています。

国際社会に通用する技術者、研究者となることを希求する学生を求めています。

大学2年次修了時までの学習で身につけてほしいこと

生命医科学に関する基礎的な知識を身につけるとともに、大学3年次での学習に必要な論理的思考力、他者との関係構築に必要なコミュニケーション能力、医情報学科での専門性を身につけるための前提となる幅広い教養、レポート作成やプレゼンテーションに必要なアカデミックスキル、医情報学科において学ぶ意欲と向上心を持ち、主体的に行動する姿勢等を身につけておくことが望まれます。

入学者選抜制度

第3年次転入学・編入学試験

日本国内や外国の4年制大学の第2年次修了（見込）者、短期大学卒業（見込）者、高等専門学校卒業（見込）者、および専修学校専門課程修了（見込）者など、大学等の教育機

関で 2 年次まで修学し、さらに医情報学科での専門性を身につけることに対する明確な目的と強い意欲および能力を備えた人物を選抜するために、成績証明書等では既修単位（見込みを含む）および成績等、筆記試験では医情報学科での専門性を身につけるための「知識・技能」が備わっているか、志望理由書では「思考力・判断力・表現力」が備わっているか、口頭試問では「主体性・多様性・協働性」が備わっているかななどを適正に評価しています。

とりわけ、本入試においては、医情報学科での専門性を身につけることに対する明確な目的および強い意欲と医情報学科への適応性を備えているかについての評価に重点を置き、専門科目に関する筆記試験（数学）、口頭試問等を通じて審査しています。